

一般質問

よみがえれ能登川病院



太陽クラブ

杉田 米男

問 能登川病院の運営を、指定管理で医療法人社団昂会に委ねることになったが、基本協定の締結の時期と内容は。

答 調印式は、26年12月22日に予定しています。基本協定書では、病院の管理運営における基本方針として、市立病院の役割を十分に確保し、病院利用者に対するサービスの向上や効率的な運営を図り、住民福祉の一層の増進を図ることなど、必要事項を定めています。

また、指定管理の期間は20年間で、指定管理料は利用料金制とし、支払わないものとしています。しかし、政策的医療として依頼をした救急医療と小児医療の充実については、その提供のための経費を政策的医療交付金として支払うこととしています。



4月1日から新たな体制で再スタート

問 移行に伴うスタッフの人員確保の取り組み状況は。

また、指定管理者による病院改修計画は。

答 基本的には、現在の病院職員には多く残っていただくよう、市、指定管理者双方がそれぞれ個人面談を実施しています。不足すると考えられる職種については、指定管

理者が独自に募集を開始されています。

また、病院改修計画については、小児科の診察室を二診体制に改修する計画や、院内レストラン

を新しく開設したいという意向を伺っています。が、いずれも時期や詳細な内容は未定です。

問 今後の改修、修繕の対応と、医療機器等の更新は。

答 経年劣化による施設改修については、1件につき1000万円以上の改修は市が実施し、それ以外は指定管理者にお願いします。

医療機器等の更新については、医療を行うために必要なものであり、更新や新規購入はすべて指定管理者の負担としています。

中心市街地に賑わいを



太陽クラブ

鈴木 重史

問 中心市街地の活性化を図るためには、基本的な推進計画が必要と考えるが。

答 八日市駅を中心とした市街地の活性化は、今後のまちづくりにおいても極めて重要であるとともに、基本政策の柱です。

中心市街地に求めるものは、多くの若者や家族連れが日常生活の中で買い物をしたり、一日中楽しんでいたりすることを、自分たちのまちで実現できることです。

そのために27年度には中心市街地活性化基本計画の策定に全庁で取り組み、政策推進戦略本部で議論します。

問 中心市街地活性化事業の推進には、専門部署の設置が必要では。

答 国の動向を注視しながら、4月から組織改革

問 当市は四季折々の季節感があり、若者に注目されつつあるパワースポットもあるが、それぞれが連結したまちづくりになっていない。

中心市街地のシンボルとして何が必要か。

答 中心市街地にぎわいを取り戻すことも、シンボルになると考えています。今後、計画策定の中で関係者の方々と十分に議論し、検討していきたいと考えています。



かつての賑わいを官民一体で

問 東近江市のまちづくりを推進するための基本的な考え方は。

答 市民にとって暮らしやすいまち、地域に根差したビジネスが創出されるまち、地域の人材が育成されるまち、自己完結能力を有するまちを目指します。

問 行財政改革を進める中で、事業推進のための予算確保は。

答 計画策定に取り組む中で、国や県から情報を収集し、財源として国の交付金や補助金を活用することにより、できるだけ多くの事業を進めていきます。